

# NPO法人 ブレイブサークル運営委員会 活動報告(2019年度 第3四半期)

日頃より、当法人事業へあたたかいご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。

当法人の2019年度第3四半期活動内容について、下記の通りご報告いたします。

## 2019年（令和元年）度 「大腸がんクイズラリー」運営資材提供

都道府県・市区町村のがん対策担当部門等による大腸がん検診啓発の取り組みを支援するため「大腸がんクイズラリー」の運営資材の無償提供を行っております。4枚のポスターを読みながら簡単な4問のクイズを解き、どなたでも楽しみながら大腸がんについて学べる資材です。2019年10月～12月末までの期間、41の都道府県・市区町村・その他団体等でご活用いただきました。

### 北海道・東北

福島県[福島県、喜多方市]

### 関東・甲信越

茨城県[茨城県、龍ヶ崎市]

栃木県[那須塩原市] 埼玉県[鶴ヶ島市]

千葉県[千葉市緑区、松戸市、浦安市、睦沢町]

東京都[豊島区、東村山市]

神奈川県[横浜市神奈川区、座間市、南足柄市]

新潟県[津南町] 山梨県[昭和町] 長野県[飯田市]



埼玉県 富士見市

### 北陸・東海

富山県[富山市] 福井県[福井県] 岐阜県[海津市]



富山県 高岡市

### 近畿

大阪府[吹田市、泉佐野市]

### 中国・四国

鳥取県[鳥取市] 島根県[隠岐の島町]

岡山県[瀬戸内市] 広島県[三原市] 山口県[下関市]

徳島県[石井町] 香川県[宇多津町] 高知県[土佐町]

### 九州・沖縄

長崎県[島原市、諫早市] 宮崎県[都農町]

鹿児島県[奄美市] 沖縄県[沖縄県]

### その他の団体

豊前医化株式会社、中西地区健康と福祉を考える会、

愛媛県立川之石高等学校、

山口大学大学院医学系研究科、丸正印刷株式会社

## 「大腸がんクイズラリー」運営資材を こんな風に使ってます

「ポスターがわかりやすい、資材セットが無償提供で助かっています。」など実施報告で励ましのお声をいただきます。うれしいお声の一方で、「何か参考になる運営方法はありませんか?」などのご相談もいただきます。そこで実施現場にお邪魔して見つけた運営の工夫などを少しづつご紹介します。

### 賑わいと解放感の中で大勢の方に大腸がんクイズを!

＜東京都がん検診センター運営例＞

#### ■テントの外側にポスターを掲出

東京都がん検診センターでは、幅広い世代の方で賑わう地域のお祭りで、大腸がん検診啓発を実施されました。ブースはテント1張りのため、大腸がんクイズラリーのポスターをテントを囲むカバーの外側に掲出し、行き交う人々に“みなさんが参加している状況”が見えるよう展示されていました。広いスペースを生かし回遊する人々に見られる展示の工夫、参加しても出やすい空間の設定と誘導が、親子や若い世代にも立ち寄るきっかけになっていると思われました。



クイズ解答後に乳がん触診モデル体験と  
大腸がん撲滅トイレットペーパーをお渡し

#### ■手作りクリップボード

大腸がんクイズラリーのA5サイズの解答用紙記入用に「クリップボードが欲しい」「記入のために机や椅子を用意しました」などのご意見がありました。

見つけました！「手作りクリップボード」。今ある事務用品で準備ができそうです。

準備：ボール紙、つづり紐、  
ゼムクリップ

メリットは、軽くてコンパクトで  
記入しやすい。クリップボード  
を持って自分のペースで見や  
すい位置に自由に移動できること。

開催する現場の状況や参加者の年齢層によりますが、参加するためにわざわざ座るという

動作に時間を取られるイメージをお持ちの方もおられます。  
時間を取りたくない、簡単に参加したいという方にお勧めかもしません。



女性のがん検診、乳がん・子宮頸がん検診会場で、  
大腸がんも！

＜千葉市健康支援課運営例＞

#### ■“受けていない”と回答の方にポジティブなお声かけ

6月に女性のがん（乳がん、子宮頸がん）集団検診会場にて大腸がんクイズラリーを実施した千葉市健康支援課。受診受付で解答用紙を全員に配布して検診の待ち時間に大腸がんクイズラリーに参加いただきました。大腸がんクイズで関心を持たれて、検診キットを持って行かれる方もおられました。アンケート記入欄で検診を「受けていない」と回答の方に必ずお声かけ。「今ここで検診キットをお渡しできますよ。」の案内に「仕事があるし子育てで忙しいから」のお返事にも、その方のご事情などを聴きつつ、提出日・時間・場所の提案で、「ついでに提出できるかも」と持ち帰る方も多く、用意した検査容器を追加するほどに。保健師のポジティブな提案が“自分のライフサイクルに入れられるかも”という前向きな発想へのきっかけにつながっているように感じました。

#### ■小冊子の意外な活用法

検診会場のトイレには、大腸がん撲滅トイレットペーパーが設置されていました。まさに大腸がん検診に関わる現場での啓発ですね。そこで驚いたのが小冊子を広げてトイレの個室の壁それぞれに掲示されていたことです。目の前に貼られた小冊子は少し暗い空間でもカラーで目立っていました。この活用法を拝見したのは今回が初めてです。トイレの個室の殺風景な壁に集団検診の日だけ貼るなら、耐久性も気にせず手間をかけずにすぐできますね。



トイレで大腸がん検診啓発

訪問させていただいた自治体の皆様には、当日運営の大変お忙しい中、運営内容や日頃の取り組み状況等を交えた貴重なご意見をいただきありがとうございました。

今回ご紹介した事例に限らず、クイズラリーの実施報告でもご意見をいただいておりますので、少しづつ掘り下げてご紹介できればと思います。

当法人の資材や活動等にご意見ご要望などございましたら、お気軽にお寄せください。（事務局 山田）

## 福岡市「大腸がんトイペ・キャンペーン」 企業の社員に向けてトイレで啓発 1年間！

職域におけるがん検診は任意で実施されていることから、保険者や事業者ごとにがん検診の内容が様々というのが現状です。しかし自治体ではそこに暮らす地域住民の健康を守る必要があり、がん検診においても働く世代に向けて様々なアプローチを試みています。

今回は福岡市保健福祉局健康増進課の平田様に大腸がん検診啓発の新たな取り組みをご紹介いただきました。

福岡市では、平成28年度から、毎月1～7日を健診受診推進週間として、府内や地下鉄等で健診呼びかけの放送を行っていますが、企業で働く方々に向けて、より具体的な働きかけができるかを検討していました。

プレイヤーサークルの啓発トイレットペーパーを知り、それを使って、「大腸がんトイペ・キャンペーン」と銘打って以下の啓発事業を実施することにしました。

### ■事業の狙い

毎月1～7日の福岡市健診受診推進週間に、協力企業の社内トイレに啓発シールと啓発トイレットペーパーを設置し、社員啓発に役立てる。

### ■期間 令和元年11月1日（金）から

令和2年10月31日（土）の1年間

### ■対象 福岡市内の事業所・施設等

### ■市の業務

- ・啓発シールを無償提供（一社あたり最大10枚）
- ・サンプル用にトイレットペーパーを1個プレゼント  
(ただし啓発トイレットペーパーは自社で購入してもらう)
- ・年度末と期間終了後に数社を選定し表彰及びトイレットペーパー1,000個プレゼント



必ず使うペーパーホルダーに啓発シールを貼付  
検診の現場でダイレクトにアプローチ

■福岡市と包括連携協定を締結しているローソンの協力を得て、2店舗で実際に設置してもらうほか、市役所のトイレで市民の利用が多いと思われる場所にも設置。

#### ・設置場所

ローソン福岡市役所店、ローソン天神南店

福岡市役所1階（行政棟）

福岡市役所本庁舎横ローソン隣公園

令和2年1月21日現在、協力事業所は28ヶ所で、ますますの反応があつたと感じています。

なお、この事業は人生100年時代の健寿社会モデルをつくる「福岡100」プロジェクトの一つに選ばれています。

「福岡100」ホームページ <http://100.city.fukuoka.lg.jp/>

チラシ配布や個別受診勧奨、申し込み方法の変更など環境を整え受診率アップに取り組む福岡市。大腸がんの基本的な知識を公共の媒体や検診の現場であるトイレからのアプローチで、さらに受診への関心が高まればうれしいです。

## 2020年度版小冊子、ポスター 2月より配布開始しました

昨年末に都道府県経由で各市区町村にご案内した2020年度版の小冊子、ポスターについて2月より発送を開始しました。検診案内などにお役に立てれば幸いでございます。

現時点では、昨年より文字数を減らしたポスター（特に水色）のお申し込みが増えています。

空きスペースが若干ございますので、検診の問い合わせ先などをシールを貼りつけられます。



小冊子では便潜血検査用小冊子のかわりに4サイズのチラシデータをご用意しました。裏面には自治体の検診情報を入れられます。輸送コストや郵送物削減、封筒サイズに小冊子が入らないというご意見に対応しました。

また、2020年度版から新たに森永乳業（株）のご支援をいただくことになりました。



「問診票」を同封しないバージョンも2月初旬よりご用意します



問い合わせ先部署、電話番号等を入れられるスペースがあります

## Tokyo健康ウォーク2019を開催しました ～啓発メッセージを着用してLet's Walk！～



2019年11月17日（日）に東京都江東区にてTokyo健康ウォークが開催されました。今回で11回目となるこのイベントは、東京都と当法人が共催し「運動習慣が大腸がん予防に有効である」という考え方に基づき、大腸がん検診の大切さを広く呼びかけるものです。また希望する40歳以上の参加者は、無料で便潜血検査を受診することができます。

当日は天候にも恵まれ、コース上のクイズポイントにて大腸がんに関するクイズにチャレンジしながら、下町情緒あふれる地域、新しい豊洲市場の近くや運河沿いの臨界部地域など変化に富む江東区の街並みを楽しみました。



(左) 出発前の記念撮影



(右) 啓発ウォークのゼッケン

今年度の新しい試みとして、大腸がん検診啓発のメッセージを着用する、ボランティアの「啓発ウォーク」を募りました。約100名の啓発ウォークが「40歳になつたら大腸がん検診を受けましょう！」と書かれたゼッケンを思い思いの位置に付け、12km／6kmのコースを歩きました。

ボランティアに申し込まれていない方からも「そのゼッケンつけたい」とご要望をいただいたので、次回は希望する参加者全員に啓発メッセージでの発信をご協力いただけるような工夫をしてみたいと思います。

ゴール会場となった中村中学校・高等学校の吹奏楽部による演奏でトークショーが幕を開け、医師によるクイズの解答解説をゲストの東尾理子さん（プロゴルファー）、宮下純一さん（北京五輪競泳メダリスト／スポーツキャスター）と一緒に大腸がんに関する知識や理解を深めました。

また東京都や江東区の職員にがん検診の申し込みや受診方法などを参加者が直接尋ねられるブースを設置しました。Tokyo健康ウォークが、がん検診受診の第一歩になったようで大変嬉しい光景も見られる中、今年度も無事に幕を閉じることができました。

## Tokyo健康ウォーク2019が NHK「ガッテン！」にて紹介されました

大腸がんは早期発見・早期治療ができれば95%以上の方が治るといわれていますが、死亡数は減らず、女性のがん死亡原因1位という状況が続いています。

便潜血検査と精密検査の受診率の低さに注目したNHK「ガッテン！」にて、大腸がん検診啓発を目的として開催されたTokyo健康ウォーク2019と当法人理事でサバイバーの原元美紀さんが、2020年1月29日（水）に「実は女性の死亡数1位！ 大腸がんで死なない秘策」内で紹介されました。

### 「大腸トンネル探検隊」

#### 自治体向け期間限定 レンタル料金割引のご案内

新年度の大腸がん検診受診奨励が始まる前に、がん検診啓発などのイベントで「大腸トンネル探検隊」を活用してみてはいかがでしょうか。

ご使用日が2019年12月1日（日）～2020年5月31日（日）の期間限定で、お得な割引価格にて「大腸トンネル探検隊」をご利用いただけます。

お問い合わせやお申し込みは当法人Webサイトよりお願いいたします。

<http://bravecircle.net>

	通常価格	期間限定価格 12月1日～5月末
1日間1ユニット	30,000円	20,000円
1日間2ユニット	45,000円	30,000円
2日間1ユニット	37,500円	25,000円
2日間2ユニット	53,500円	35,000円

※価格は税別、往復送料込み



#### NPO法人ブレイブサークル活動報告

(2019年度 第3四半期)

2020年2月4日発行

NPO法人ブレイブサークル運営委員会 事務局

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-22-37 ストーク西新宿303

TEL: 03-6908-9160 FAX: 03-6908-9165

メール: [info@bravecircle.net](mailto:info@bravecircle.net) Webサイト: <http://bravecircle.net>